

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 平安レイサービス株式会社
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 相馬 秀行
 (氏名) 平井 良也

TEL 0463-34-2771

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,949	2.8	1,238	13.0	1,338	7.7	717	7.3
23年3月期第3四半期	6,761	8.4	1,096	46.5	1,242	43.4	668	38.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 712百万円 (8.9%) 23年3月期第3四半期 653百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	52.44	—
23年3月期第3四半期	46.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,009	11,692	41.7
23年3月期	28,265	11,595	41.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,692百万円 23年3月期 11,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,226	0.7	1,568	1.0	1,710	△1.9	959	3.8	70.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,667,000 株	23年3月期	14,667,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,532,897 株	23年3月期	592,897 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,684,430 株	23年3月期3Q	14,305,120 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済の概況は、各種の政策効果などを背景に景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、欧州の政府債務危機等による海外景気の下押しリスク、国内においては電力の使用制限要請、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然残っている状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強・新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下の通りであります。

① 冠婚事業

当事業ではより具体的な挙式イメージを伝える「360度パノラマビュー」をホームページに開設するなど継続的な広告強化を実施し、一般婚礼の集客に努めました。

その結果、前年同期に比べ婚礼単価は減少いたしました。が、婚礼施行組数が増加したことにより、売上高は513百万円（前年同期比2.1%増加）となりました。

経費面では映像商品をはじめとする外注商品が増加したことにより、営業利益は79百万円（前年同期比2.9%減少）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、平成23年12月に新葬祭店舗「湘和会館長後」（藤沢市高倉）をオープンいたしました。

また前期開業した「湘和会館愛甲石田」が通年稼働となり、施行件数も順調に推移した他、既存葬祭店舗では施行件数の拡大を図るため、中小規模の葬儀にも対応可能な家族葬専用フロアへの改装を前期に引き続き実施いたしました。

当第3四半期にはカルチャーBONDS小田原に家族葬専用式場を新設、湘和会堂秦野ではよりプライベート感を高めるフロア改装を実施し、幅広い施行規模に応じたレイアウトや料金プランを提供できるようサービスのラインナップ充実に努めてまいりました。その結果、営業エリアにおける死亡人口増加率も依然として当初予測を上回って推移しており、施行件数は前年同期比で増加いたしました。

営業面では第2四半期より販売開始した、より上質な食材・おもてなしを提供する通夜料理メニュー「雅」の販売が堅調に推移した他、当第3四半期より直葬や極少人数の葬儀に対応する新商品「遺影壇」を開発するなど幅広いラインナップ強化により、葬祭単価は前年同期比で減少したものの当初想定単価を上回って推移いたしました。

以上により売上高は5,744百万円（前年同期比2.8%増加）となり、経費面では第2四半期より引き続き霊柩業務、湯灌業務の直営化等のコスト改善により、営業利益は1,651百万円（前年同期比9.1%増加）となりました。

③介護事業

当事業では、平成23年12月に5施設目となるグループホーム「へいあん荻窪」がオープンした他、グループホームを中心とした施設系サービスが前期比増加したことにより、売上高は682百万円（前年同期比3.1%増加）となりました。

経費面では昨年度開設のグループホーム「へいあん善行」の通期稼働及び今年度開設のグループホーム「へいあん荻窪」要員の採用に伴う人件費増加等により、営業損失2百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

④互助会事業

当事業では、売上高は205百万円（前年同期比4.3%減少）、営業利益は105万円（前年同期比1.4%増加）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における、売上高は6,949百万円（前年同期比2.8%増加）、営業利益は1,238百万円（前年同期比13.0%増加）、経常利益は1,338百万円（前年同期比7.7%増加）となりました。

また特別損失として葬祭施設の改装に伴う固定資産除売却損27百万円等により四半期純利益は717百万円（前年同期比7.3%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益は事業間の取引による金額を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して255百万円の減少となりました。流動資産では、有価証券、投資有価証券の取得、償還により現金及び預金が487百万円増加、有価証券が取得、償還、振替等により88百万円の増加となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が取得、振替等により704百万円減少しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して352百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が282百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が127百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して96百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月31日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,788,268	5,275,672
売掛金	197,004	262,374
有価証券	4,017,905	4,106,359
商品及び製品	57,360	49,995
原材料及び貯蔵品	102,834	120,144
繰延税金資産	98,727	30,634
供託金	45,100	45,100
その他	122,012	127,970
貸倒引当金	△591	△614
流動資産合計	9,428,622	10,017,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,354,534	4,242,790
機械装置及び運搬具（純額）	49,200	65,478
工具、器具及び備品（純額）	147,582	142,776
土地	6,824,636	6,824,636
その他	27,999	32,327
有形固定資産合計	11,403,953	11,308,009
無形固定資産	62,833	57,479
投資その他の資産		
投資有価証券	4,627,749	3,923,209
長期貸付金	49,790	49,790
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	376,549	316,013
その他	1,726,017	1,747,669
貸倒引当金	△10,290	△10,290
投資その他の資産合計	7,369,816	6,626,392
固定資産合計	18,836,603	17,991,881
資産合計	28,265,226	28,009,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	189,215	254,204
未払法人税等	448,091	165,114
掛金解約手数料戻し損失引当金	8,340	3,612
その他	661,395	671,582
流動負債合計	1,307,042	1,094,512
固定負債		
繰延税金負債	56,708	37,458
退職給付引当金	48,597	55,805
役員退職慰労引当金	125,777	123,924
資産除去債務	91,720	94,420
前払式特定取引前受金	15,011,459	14,883,716
その他	28,654	27,492
固定負債合計	15,362,918	15,222,818
負債合計	16,669,960	16,317,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	8,300,215	8,786,095
自己株式	△286,917	△670,437
株主資本合計	11,637,209	11,739,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41,943	△47,381
その他の包括利益累計額合計	△41,943	△47,381
純資産合計	11,595,265	11,692,187
負債純資産合計	28,265,226	28,009,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,761,286	6,949,794
売上原価	4,830,126	4,823,550
売上総利益	1,931,160	2,126,243
販売費及び一般管理費	835,014	887,364
営業利益	1,096,145	1,238,879
営業外収益		
受取利息	41,919	28,861
受取配当金	1,368	1,709
掛金解約手数料	27,901	13,893
補助金収入	17,118	2,718
その他	70,265	65,579
営業外収益合計	158,574	112,760
営業外費用		
供託委託手数料	4,150	3,811
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	2,471	3,612
有価証券評価損	1,250	1,300
その他	4,518	4,653
営業外費用合計	12,390	13,376
経常利益	1,242,328	1,338,263
特別利益		
固定資産売却益	19	625
貸倒引当金戻入額	72	—
特別利益合計	91	625
特別損失		
固定資産除売却損	26,072	27,069
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,210	—
特別損失合計	75,283	27,069
税金等調整前四半期純利益	1,167,137	1,311,818
法人税、住民税及び事業税	455,763	487,397
法人税等調整額	42,876	106,801
法人税等合計	498,639	594,199
少数株主損益調整前四半期純利益	668,497	717,619
四半期純利益	668,497	717,619

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	668,497	717,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,021	△5,438
その他の包括利益合計	△15,021	△5,438
四半期包括利益	653,476	712,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653,476	712,180
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	冠婚事業 (千円)	葬祭事業 (千円)	互助会事業 (千円)	介護事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	502,789	5,587,470	4,550	662,073	6,756,883	4,403	6,761,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	210,592	—	210,592	—	210,592
計	502,789	5,587,470	215,142	662,073	6,967,475	4,403	6,971,879
セグメント利益	82,110	1,513,806	103,712	8,564	1,708,194	1,087	1,709,282

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,708,194
「その他」の区分の利益	1,087
全社費用(注)	△613,136
四半期連結損益計算書の営業利益	1,096,145

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	冠婚事業 (千円)	葬祭事業 (千円)	互助会事業 (千円)	介護事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	513,283	5,744,976	4,331	682,670	6,945,261	4,533	6,949,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	201,616	—	201,616	—	201,616
計	513,283	5,744,976	205,948	682,670	7,146,878	4,533	7,151,411
セグメント利益又は損失(△)	79,703	1,651,773	105,144	△2,417	1,834,204	1,173	1,835,377

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,834,204
「その他」の区分の利益	1,173
全社費用(注)	△596,498
四半期連結損益計算書の営業利益	1,238,879

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。